

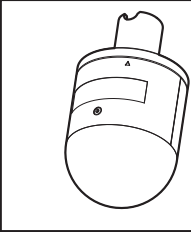
取扱説明書

日立監視用カラービデオカメラ VK-C849H

このたびは、日立監視用カラービデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

HITACHI

Inspire the Next



仕 様

形名		VK-C849H
用途		屋内用カラービデオカメラ
信号方式		NTSC 方式準拠
撮像素子		1/4 型インターライン CCD 型固体撮像素子
有効画素数		768 (H) × 494 (V) 画素
総画素数		811 (H) × 508 (V) 画素
レンズ		F2.0 f=2.0mm 固定焦点
包括画角		水平：約 98° 垂直：約 75°
映像信号出力		VBS：1.0Vp-p、 映像：約 0.7Vp-p 正極性 同期：約 0.3Vp-p 負極性
S/N 比		46dB 以上
水平解像度		470TV 本以上
最低被写体照度		5.0ルクス
光 学 処理系	自動絞り	あり (CCD 電子絞り)
	オートホワイトバランス	あり
	フリッカキャンセル	あり
画角調整	垂直振り角	約 +48° ～～ 30°
	水平振り角	約 ± 45°
	回転振り角	約 ± 60°
電源		DC12V ± 1.0V
消費電流		100mA 以下
端子	映像出力端子	画面調整用×1 φ3.5ミニジャック(モノラルタイプ) 記録機器・モニター TV 用×1 BNC 接栓 (メス)
	電源入力端子	D2 キャップ 3 ピン タブハウジング：タイコエレクトロニクス型番：1-1318117-3 適合リセハウジング：タイコエレクトロニクス型番：1-1318120-3
許容動作温度・湿度		動作維持範囲：0 ～ 40℃、10 ～ 85% 性能維持範囲：+5 ～ 30℃、45 ～ 75%
外形寸法		直径φ 50mm × 65mm(取り付け金具および突起部を除く)
質量		約 250g

・予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立産業制御ソリューションズ

〒 170-8466 東京都豊島区東池袋四丁目 5 番 2 号

ライズアリーナビル

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。
QR69644 ©Hitachi Industry & Control Solutions, Ltd. 2015

Printed in Japan 15-05 (I)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死にまたは重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※ 2）を負う可能性が想定される内容および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。
※ 1 重傷 …… 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※ 2 傷害 …… 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※ 3 物的損害 … 家屋・家財および畜畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。
・ 絵表示の例
○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告
異常なときは使わない
・万一煙が出てい、へんなどにおいがするなど異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに電源機器の電源を切り、カメラへの電源供給をやめてください。煙が出なくなるのを確認して、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
水にぬらさない
・万一水などが内部に入った場合は使用をやめ、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
異物を入れない
・内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。火災の原因となります。
・万一異物が内部に入った場合は、電源機器の電源を切り、カメラへの電源供給をやめ、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
落下のおそれのある場所に設置しない
・カメラの重量に耐えられないような、もろい材質が使われている場所に設置しないでください。落下してけがの原因となります。
電源仕様外の電源機器を使わない
・電源仕様外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。必ず電源仕様内の電源機器をお使いください。
引火性ガスが発生する場所に設置しない
・引火性ガスが発生する場所に設置すると、発火の原因となります。
分解・改造しない
・分解・改造しないでください。火災の原因となります。
風呂場では使用しない
・風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
カメラを落とさない
・カメラを落としたときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

注意

湿気やほこりの多い場所に設置しない
・火災の原因となることがあります。
油煙や湯気が当たる場所に設置しない
・調理台や加湿器のそばに設置しないでください。火災の原因となることがあります。
移動させるときは注意して
・移動させるときは、接続コードを抜いたことを確認のうえ、移動してください。つながつまま移動させると、接続コードが傷つき、火災の原因となることがあります。
放熱を妨げない
・内部に熱がこもると、火災の原因となることがあります。本体には粘着テープなどを貼り付けしないでください。
接続コードを傷つけない
・接続コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災の原因となることがあります。
・接続コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重いものをのせて接続コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災の原因となることがあります。
接続コードが傷んだら交換する
・接続コードの芯線が露出したり、断線したときは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
接続コードを熱器具に近付けない
・コードの被覆が溶けて、火災の原因となることがあります。
ぬれた手でプラグを抜き差ししない
・感電の原因となることがあります。
お手入れするときは電源を外す
・安全のため、カメラへの電源供給をやめてお手入れしてください。
長期間ご使用にならないときは電源を外す
・安全のため、カメラへの電源供給をやめてください。
保守点検について
・保守点検を販売店にご相談ください。機器内部にほこりがたまったまま、長い間開閉をしないと火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店にご相談ください。

ご使用上のお願い

- 設置上のご注意 次のような場所には設置しないでください。強い電波や磁気のあるところ電波塔の近くやモーターを使った電気製品のそばなど、強い電波や磁気の発生するところで使用すると、画像がゆがんだりすることがあります。

極端に高温や低温のところ

許容動作温度範囲外のところでは使用しないでください。画面の低下や故障の原因になります。

ほこりや湿気の多いところ

カメラ内部にほこりが入ると故障の原因になります。また湿気が多いと、レンズにカビが発生する原因になります。

油煙や湯気が当たるところ

カメラ内部に油や水が入ると故障の原因になります。

● 使用上のご注意

衝撃を与えない

ぶつけたり、落としたりすると故障の原因になります。

太陽や強烈な光に向けない

撮像素子が焼き付き、撮影できなくなる場合があります。

接続機器の取り扱いについて

本機につなげてお使いになる機器の取扱説明書と、その「使用上の注意」もよくお読みください。

お手入れについて

ドームカバーの表面にほこりや汚れなどがつくと映像がきれいに映りません。ほこりや汚れなどがついた場合は、やわらかい布などを使って軽くふきとってください。

お願い

- ドームカバーをふくときは強くこすらないでください。キズが生じることがあります。
- ドームカバーをベンジンやシンナーなどでふかないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。
- 化学そうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

外国では使わない

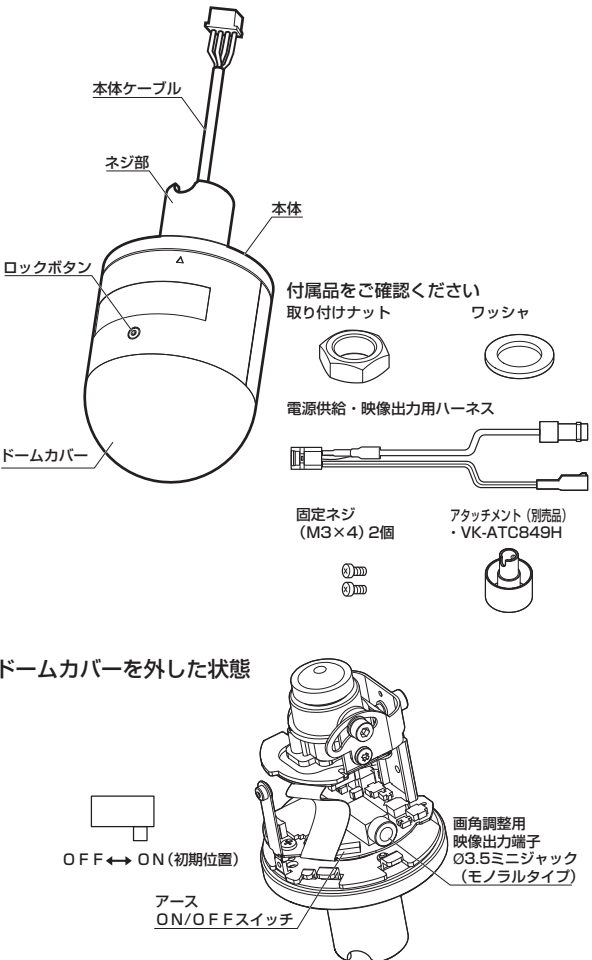
このカメラは日本国内用です。
<This video camera cannot be used in foreign countries as designed for Japan only>

著作権について

あなたがカメラで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

監視用カラービデオカメラの故障もしくは不具合により発生した付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

各部のなまえ



設置のしかた

- 天井の通線穴へ、本体ケーブルとネジ部を通す。
- カメラのネジ部と取り付けナット、ワッシャを使って、天井に固定する。
 - カメラのネジ部の U 字切欠き側がカメラ正面側となります（出荷時）。
- その後、付属の電源供給・映像出力用ハーネスを接続する。

ご注意

- コネクタ・ケーブル等を傷つけないでください。
- 取り付けるときは、けが防止のため、手袋等をご使用ください。

【補足】

取り付けナットをある程度締めた後にネジ部の U 字切欠きと穴にドライバなどを通して固定すると、取り付けナットの最終固定時に十分締めることができます。



U 字切欠きはカメラ本体のレンズ

正面の向きと同じになっているので、エレベーター天井裏での設置作業時に参考にしてください。

【天井照明を避けて取り付けたいとき】

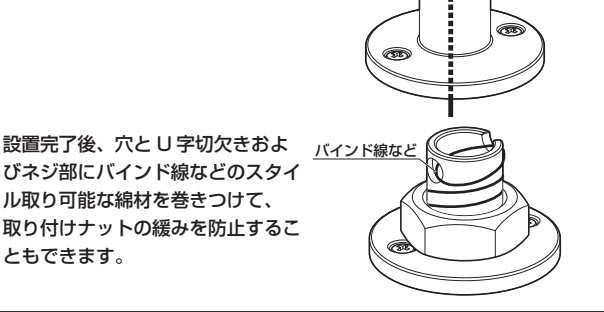
別売りのアタッチメント（機種名：VK-ATC849H）を使うと、天井の照明を避けて取り付けすることができます。

- 本体ケーブルをアタッチメントの穴から通す。
- カメラのネジ部をアタッチメント底面のネジ穴に挿入し、締める。
- アタッチメント装着後に必ず付属の固定ネジを締める。
- 天井の通線穴へ、本体ケーブルとアタッチメントのネジ部を通す。
- アタッチメントのネジ部と取り付けナット、ワッシャを使って、天井に固定する。
- その後、付属の電源供給・映像出力用ハーネスを接続する。

ご注意

- コネクタ・ケーブル等を傷つけないでください。
- 取り付けるときは、けが防止のため、手袋等をご使用ください。

設置完了後、ケーブル類を U 字切欠き部に収納することが可能です。



【ドームカバーの取り外し方】

カメラ側面のロックボタンを 2 mm 程度押してから、①の方向に止まるまで回し、ゆっくりと②の方向にずらしてください。

ご注意

- 強くひっぱって脱落止めを切らないよう、ご注意ください。

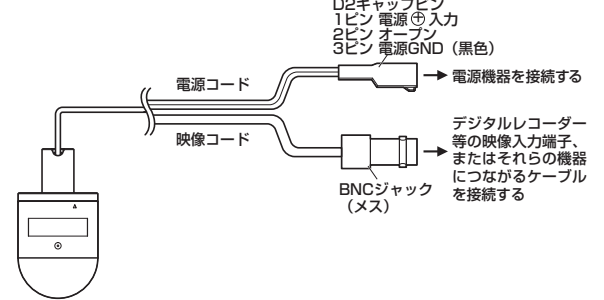
【ドームカバーの取り付け方】

- 穴と三角のしるしを合わせ、ドームカバーを①の方向に取り付ける
- ②の方向にロックがかか穴るまで回す

ご注意

- 本体の基板には手を触れないでください。故障の原因となります。また、レンズ面やドームカバーの内側に指紋等の汚れがつかないように、ご注意ください。
- 天井に本体を固定するとき、映像コードおよび電源コードをはさまないよう、ご注意ください。
- 天井に取り付けたあとにドームカバーを外すときは、ドームカバーがレンズに触れないよう、ご注意ください。
- ドームカバーを取り付けるときには、脱落止めをドームカバーに挟みこまないよう、ご注意ください。

【配線のしかた】



画角を調整する

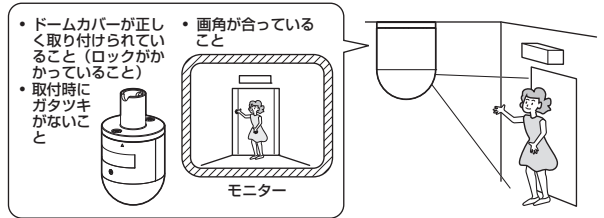
被写体がカラーモニターの中央にくるように調整します。

- 水平画角を調整したいときは A のネジを、垂直画角を調整したいときは B のネジを六角棒スパナ（2.5）でゆるめてから調整する。回転画角を調整したいときは、C のネジをゆるめてから調整する。
- 調整後、被写体が正しく映っていることを確認してから、A、B、C のネジを締める。

ご注意

- C のネジを調整するときは、φ 3 以下の小型ドライバーを使用し、基板や基板部品を破損しないようご注意ください。
- C のネジは取り外さず、ゆるめる程度にしてください。

設置後の確認



保証書（別添）について
この商品には保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

当社は、この監視用カラービデオカメラの補修用性能部品を、製造打切後 8 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

本機が正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、監視用カラービデオカメラの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	カラービデオカメラ
形名	VK-C849H
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理を依頼されるときは
(出張修理)

修理を依頼されるときは（出張修理）

修理料金の仕組み	
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出張代	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守契約を結んでいたいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は保守員を派遣して、装置の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120 - 3121 - 68 FAX 0120 - 3121 - 87 (受付時間) 9:00 ～ 19:00 (月～土) 9:00 ～ 17:30 (日・祝日) 携帯電話、PHS からもご利用できます。	TEL 0120 - 3121 - 19 FAX 0120 - 3121 - 34 (受付時間) 9:00 ～ 17:30 (月～土) 日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。 携帯電話、PHS からもご利用できます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。